



「平成19年度コウノトリ自然放鳥」放鳥者募集のお知らせ

「コウノトリ自然放鳥（3羽）」での放鳥者を募集します。放鳥者には、放鳥の際のテープカットをしていただきます。
 放鳥日時：平成19年9月22日（土）10：30～11：00
 放鳥場所：豊岡市城崎町戸島
 応募要領：(1) 応募資格 県内に在住又は通勤・通学の方、コウノトリファンクラブ会員の方（いずれかに該当する方）
 (2) 募集人数 15名程度（小・中学生、一般の方、コウノトリファンクラブ会員 各5名程度）
 応募方法：官製ハガキに次の事項を記入の上、コウノトリの郷公園へお送り下さい。
 「コウノトリ放鳥者希望」、住所、氏名、年齢（学年）、職業（学校名）、電話番号
 「コウノトリファンクラブ会員」（会員の場合のみ）
 （注）応募は1名につき1通でお願いします。会場までの交通費は各自の負担をお願いします。
 応募締切：平成19年8月27日（月）消印有効（応募者多数の場合は、抽選により決定します）
 その他：詳細については、当公園ホームページまたはチラシをご覧ください。



特別観察会「夜の生き物」のご案内

日程：平成19年8月17日（金）19：30～21：00
 対象者：小学校～一般（小学生は保護者同伴が望ましい。また、中学生以下のコウノトリの郷公園までの交通手段については、保護者で対応願います。）
 定員：30名
 内容：夜行性のほ乳類や昆虫についてのお話とフィールド観察
 応募締切：平成19年8月16日（木）ただし、定員になり次第締め切ります
 保険料：18円
 申込方法：次の～を明記したハガキ・FAX・E-mailのいずれかでお申し込みください。
 郵便番号・住所 氏名（ふりがな） 生年月日
 電話番号 「夜の生き物」への参加を希望



お詫びと訂正

いきもの通信 vol.119号にて、ショウジョウトンボ（メス）の写真がまちがっていました。ここにお詫びし、正しい写真を掲載させていただきます。



飼育コウノトリの繁殖状況（2007.07.31現在）

親鳥	育雛状況(羽)		備考
	巣立ち前	計	
Lペア センター	1	1	ヒナの親鳥はWペア
Wペア センター	1	1	
計	2	2	

コウノトリの郷公園附属飼育施設コウノトリ保護増殖センターにいるヒナたちも、巣立ち間近となりました。
 Lペアに育てられているヒナは、7月17日からケージ内を歩き回っています（写真）。巣台（写真右下）が低いので、降りてしまったのです。これは、巣立ちしたとはいきません。近いうちに、自分の力で羽ばたき飛べるようになってほしいと思っています。



コウノトリの羽数（2007.7.31現在）

飼育コウノトリの羽数

	オス	メス	不明注	合計
コウノトリの郷公園	31	38		69
コウノトリ保護増殖センター	17	18	2	37
	48	56	2	106

注：ヒナのため性別不明

方法1
適切な場所から、複数の個体を一斉に放鳥します

方法2
飛べない状態にしたペアを放鳥拠点で飼育・繁殖させ、巣立ちした幼鳥を自由にさせます

方法3
飛べない状態にした複数のオスとメスを放鳥拠点で飼育し、拠点を知ったころに自由にさせます

方法4
飛べない状態にした複数のメスを放鳥拠点で飼育し、飛翔可能な複数のオスを付近に放鳥し、繁殖させます

野生下のコウノトリの羽数

実施年度	放鳥方法	放鳥実績/野外での繁殖				回収/收容				備考	野外現存数		
		放鳥・着手	巣立ち・孵化日	オス	メス	不明	合計	オス	メス			オス	メス
平成17年	方法1	平成17年9月24日放鳥		2	3		5	1		1		J0290一時收容中、J0232死亡	3
	方法4	平成17年9月30日着手			2		2		2			ペア不成立のため回収	
平成17-18年度	方法2	(親鳥)平成17年9月30日着手		1	1		2	1	1			試験終了のため回収	2
		(幼鳥)平成18年7月14日、21日巣立ち		1	1		2						
平成18年度	方法1	平成18年9月23日放鳥		1	2		3						3
	方法3	平成18年6月25日着手(9月24日解放)		2	2		4						4
平成19年度	方法3	平成19年7月31日野外で巣立ち				1	1						1
		平成19年6月17日着手		1	1		2						2
合計				8	12	1	21	2	3	1			15

いきもの通信

No.120

おおぞら ま 大空を舞う

やがい すだ 野外でのヒナの巣立ち

豊岡市百合地地区の人工巣塔で5月20日に孵化が確認されたヒナが、7月31日午後2時16分に巣立ちました（写真1）。国内における野外での巣立ち、福井県小浜市で昭和36年に2羽が確認されていらい、46年ぶりの出来事です。豊岡市においては、昭和34年に福田から1羽の巣立ちが確認されていらい、48年ぶりの待望の瞬間でした。

孵化から2ヶ月を過ぎる頃、ヒナが羽ばたきを行い、身を浮かせる回数が多くなりました。ジャンプする高さが増したり、巣の外に身を乗り出すような姿勢をとる回数が増えたりするにつれ、巣立ちへの期待がさらに高まり、今か今かこのときを待ち続けました。ヒナは、地上から12.5メートルの高さにある直径約2メートルの巣から、広大な自然界へ飛び立ちました。厳しい自然の中で、たくましく育っていくことを願っています。



写真1 百合地地区の人工巣塔を飛び立ったヒナ（7月31日撮影）

おやどり 親鳥 J0228 と J0275



写真2 カラスを威嚇するJ0228（5月20日撮影）



写真3 1匹のヘビを引っぱりあうヒナとJ0275（6月7日撮影）

昨年9月24日に河谷放鳥拠点から解放したJ0228（9歳メス）とJ0275（7歳オス）は、4月中旬の産卵後、交代で抱卵し続け、1羽のヒナを孵化させました。孵化が確認された20日には、さっそく数羽のカラスが卵を狙って来ましたが、威嚇して追い払いヒナを守りました（写真2）。毎日餌を運びましたが、時には、ヒナよりも大きな餌を吐き出し、ヒナが飲み込むことができない

問い合わせ先
 兵庫県立コウノトリの郷公園
 〒668-0814 豊岡市祥雲寺字ニヶ谷128番地
 TEL：0796-23-5666
 FAX：0796-23-6538

E-mail：kounotori@stork.u-hyogo.ac.jp
 URL：http://www.stork.u-hyogo.ac.jp
 開園時間：9：00～17：00
 休園日：毎週月曜日（休日に当たるときはその翌日）
 リサイクルペーパーを使用